

授 業 科 目 名	嚥下障害Ⅲ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	田中 和親	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>摂食嚥下障害は、小児から成人にいたる幅広い年齢層において起こりうる障害で、言語聴覚士がかかわる重要な業務として言語聴覚士法に定められている。嚥下障害Ⅲでは、訓練法、リスク管理、チームアプローチを中心に学習する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>訓練法、リスク管理について理解を深める。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	摂食嚥下障害に対する訓練法①		
第 2 回	摂食嚥下障害に対する訓練法②		
第 3 回	摂食嚥下障害に対する訓練法③		
第 4 回	摂食嚥下障害に対する訓練法④		
第 5 回	摂食嚥下障害に対する訓練法⑤		
第 6 回	摂食嚥下障害に対する訓練法⑥		
第 7 回	摂食嚥下障害に対する訓練法⑦		
第 8 回	摂食嚥下障害に対する訓練法⑧		
第 9 回	急性期でのアプローチ		
第 10 回	回復期でのアプローチ		
第 11 回	生活期でのアプローチ		
第 12 回	在宅でのアプローチ		
第 13 回	グループワーク①		
第 14 回	グループワーク②		
第 15 回	まとめ		
評価方法	定期試験（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 摂食嚥下リハビリテーション（医歯薬出版株式会社）		
履修上の 留意点	座学だけでなく、実習の割合が増えます。		
メッセージ	食べることは生きること、生きることは食べること。生きる上で最も重要な食べることについて専門的な知識や技術を学び、支援のできるセラピストを目指しましょう。		